



長野県建築士会

佐久支部



## 佐久の札所

### 第12番札所 上宮寺

佐久市田口下宮代



佐久三十三番観音霊場第12番札所上宮寺は長野県佐久市田口下宮代に境内を構えている真言宗智山派の寺院です。上宮寺の創建は伝承によると西暦600年頃上宮太子が開基したのが始まりと伝えられています。当初は新海三社神社別当寺として新海山上宮本願院神宮密寺として神社の境内に隣接していました。神仏分離令により独立し現在地に移ってきました。新海三社神社の境内にある国の重要文化財に指定されている三重塔は上宮寺の塔として建立された建物で神仏混合時代の遺構として残されています。現在伽藍は上宮寺本堂・庫裡他 長野県宝である金剛力士像が安置されている山門・同じく長野県宝である梵鐘が乗る鐘楼門・十九夜講の石仏等がある。



## もくじ

支部長あいさつ……………	2
建築課長あいさつ……………	3
令和3年度中間報告…	4～5
委員会活動について…	6～8
旧大沢小学校……………	9
ウッドクラブト……………	10
賛助会員の紹介……………	11

## ご挨拶

公益社団法人 長野県建築士会佐久支部 支部長  
**菊池 弘之**



新年、明けましておめでとうございます。

昨年中には、ワクチン接種を選択された方の大半は、接種されたと推測致します。ですが建築士の事業も企画・ご案内までは進みますが、万が一建築士の事業に参加され感染となつては…等の考えより止む無く中止・延期の判断をさせて頂いております。

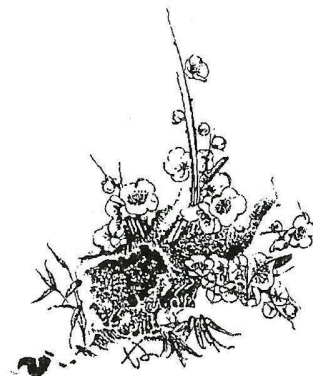
特に視察研修に申し込みを頂いた方々には、申し訳ないと感じております。開催方法を模索しZoom等でのウッドクラフト・教育・事業+青年女性との共同開催見学会も主立って見えますが、各委員会も月に1回のペースで開催して頂き、情報広報委員会では『ちくま』の発行、総務委員会では『会員の手引き』の発行、2月に、新年講演会の企画、地域まちづくり委員会でも佐久穂町の住宅助成金の調査等の活動して頂いております。

今年2022年は、マスク無しで堂々と事業活動が再開出来るよう願っております。

既に、事業予定は2月に新年講演会・2～3月地区別講習会・6月関ブロ・秋に東信ブロック開催の県フォーラム（本会主催）と各委員会・担当の方々が実現に向けて動いて頂いております。

本業も忙しい方・物凄く忙しい方が大方かと、推察致します、建築士の活動も、お仕事も大事ですが、まずは、自身のお体ご自愛頂き、笑顔でお会いできる日が、必ず近い日にあると信じております。

引き続き、建築士会佐久支部、宜しくお願い致します。





# 会報の発刊によせて

長野県佐久建設事務所 建築課長

中村 均



建築士会佐久支部の会報の発刊にあたりご挨拶申し上げます。

昨年も、何かにつけコロナが話題となり、日常生活をはじめ、会員皆様の活動に至るまで様々な影響を与えました。早く終息してくれることが切に望まれるところです。

また、県が「2050年ゼロカーボンの実現」に向け施策を進める中、建築士会佐久支部の今年度の新年講演会は、テーマを「ゼロカーボン社会の建築のあり方～2030年までにやるべきこと」として開催いただきました。ご協力いただき大変ありがとうございました。

さて、佐久地域における建築の状況ですが、新設住宅着工戸数を見ますと令和2年度は、全国で8.1%減(対前年度比)の812,164戸、全県で2.2%減の12,152戸とコロナの影響により減少しておりますが、佐久圏域は30.7%増の1,909戸となりました。佐久圏域の過去5年の平均が1,525.2戸ですので、これと比べても25.2%の増となります。建築確認申請件数で見ますと、前年度比では、全県で2.93%の減、佐久圏域は2.37%の増となっております。これは、軽井沢町などを中心に住宅が大幅に伸びた一方、他の施設が大きく減ったことによるものと思われます。

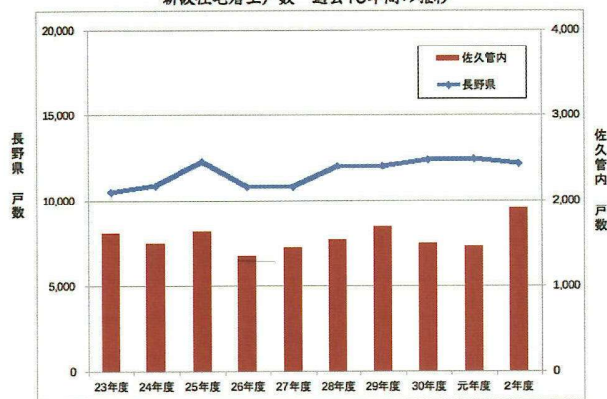
そのような中、今年度上半期の状況ですが、新設住宅着工戸数は全国で7.6%増(対前年同時期比)の445,674戸、全県が1.4%減の6,219戸、佐久圏域が6.0%減の948戸となっております。全国では、昨年同時期と比べ増加しておりますが、コロナ前の元年度上半期と比べると4.5%の減であり、未だ回復途上にあるといえます。また、全県の場合を見ると元年度上半

期に比べ、9.6%の減となり昨年同様低迷しております。一方、佐久圏域では、元年度上半期との比較では、15.1%の増、過去5年の同時期平均と比べても14.7%の増となっており、昨年よりは減少しているものの、好調を維持していると言えます。

また、建築工事届を見ていると、昨年度に比べ住宅以外の建物が増えてきているように思えることから、全般的に好況といえる状況が続いているといえますが、その一方で、ウッドショック等コスト高に起因すると思われる工事取止め届も増えてきており、今後注視していく必要があると思います。

最後に、県の建築・住宅行政に一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いするとともに、建築士会佐久支部の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を御祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

新設住宅着工戸数 過去10年間の推移



(単位：戸)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
長野県	10,475	10,845	12,261	10,807	10,805	12,031	12,020	12,386	12,426	12,152
佐久管内	1,616	1,495	1,637	1,345	1,444	1,531	1,691	1,489	1,461	1,909

# 令和3年度中間報告

月 日	行 事 名	場 所
4.6	第8回三役会及び第4回幹事会	佐久グランドホテル
4.15	空き家相談	佐久合同庁舎
4.28	県三役会	長野県建築士会館
5.11	県三役会	Zoomミーティング
5.13	県理事会	松本市勤労者福祉センター
5.17	新旧三役会	佐久市民創錬センター
5.21	令和3年度第11回協議会（第1回幹事会）	佐久グランドホテル
5.29	第71回通常総会	ホクト文化ホール
6.4	景観授業	泉小学校
6.8	第1回三役会	県立武道館
6.11	第1回青年女性委員会	柏屋旅館
6.14	東信ブロック打合せ（本会委員決め）	上田合同庁舎
6.15	第2回三役会及び第2回幹事会	佐久平交流センター
6.16	県三役会	長野県建築士会館
6.19	関プロ青年協茨城大会	茨城県及び Zoomミーティング
6.23	建築指導員パトロール	佐久管内（南佐久以外）
6.23	建築指導員パトロール	南佐久地区
6.25	県三役会及び理事会	松本市及びZoom
6.29	第1回総務企画委員会	Zoomミーティング
7.6	第1回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
7.6	第1回情報広報委員会	ひろ喜
7.7	空き家対策佐久地域連絡会	Web会議
7.7	第1回地域まちづくり委員会	かつ栄
7.14	政所新二木彫展鑑賞会	小諸高原美術館
7.14	第2回青年女性委員会	北国街道ほんまち町屋館
7.15	県総務・情報委員会	Zoomミーティング
7.15	県防災委員会	Zoomミーティング
7.21	第1回教育事業委員会	かつ栄
7.21	御代田フットパス草刈り作業	御代田町
7.22	県関プロ青年協長野大会実行委員会	Zoomミーティング
7.22	第2回情報広報委員会	水落観音及び李紅蘭
7.28	東信ブロックゴルフコンペ	望月東急ゴルフクラブ
7.29	第2回総務企画委員会	Zoomミーティング
7.29	第3回青年女性委員会	Web会議
8.2	佐久木造住宅耐震推進協議会耐震委員会	かつ栄
8.3	第2回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
8.4	県法人改革部会	長野県建築士会館
8.4	県会員増強部会	長野県建築士会館
8.4	第1回三役委員長会議	佐久市民創錬センター

中止となった支部の事業 ・三団体親睦ゴルフコンペ  
 ・三団体合同研修旅行



月 日	行 事 名	場 所
8.5	第3回情報広報委員会	佐久市民創錬センター
8.24	県関プロ青年協長野大会実行委員会	Zoomミーティング
8.24	第3回総務企画委員会	Zoomミーティング
8.25	県三役会	Zoomミーティング
9.3	県三役会・理事会	長野県自治会館及びZoom
9.7	第3回地域貢献委員会	Zoomミーティング
9.8	第2回教育事業委員会	Zoomミーティング
9.9	第4回情報広報委員会	Zoomミーティング
9.15	県防災委員会	Zoomミーティング
9.21	第3回三役会及び第3回幹事会	Zoomミーティング
9.24	第5回情報広報委員会	佐久市民創錬センター
9.29	第4回総務企画委員会	Zoomミーティング
9.29	第6回情報広報委員会	Zoomミーティング
10.6	県会員増強部会	長野県建築士会館
10.5	第4回地域貢献委員会	佐久市民創錬センター
10.5	第3回教育事業委員会	Zoomミーティング
10.15	建築指導員パトロール	南佐久地区
10.15	空き家相談	佐久合同庁舎
10.18	建築指導員パトロール	御代田・軽井沢地区
10.20	建築指導員パトロール	小諸地区・佐久地区
10.22	県CPD・専攻建築士制度運営委員会	Zoomミーティング
10.27	第5回総務企画委員会	Zoomミーティング
10.29	県総務・情報委員会	長野県建築士会館
10.30	旧大沢小学校見学会	旧大沢小学校
10.31	第7回情報広報委員会	上宮寺
11.2	リモート版ウッドクラフト打合せ会議	県立武道館 佐久市民創錬センター
11.2	フォーラム実行委員会	Zoomミーティング
11.5	第8回情報広報委員会	ひろ喜
11.7	リモート版ウッドクラフト材料配布	イオン佐久平店
11.11	第4回教育事業委員会	かつ栄
11.12	収支改善委員会	Zoomミーティング
11.13	リモート版ウッドクラフト	Zoomミーティング 県立武道館
11.15	空き家相談	佐久合同庁舎
11.15	県防災委員会	Zoomミーティング
11.24	県三役会	Zoomミーティング
11.24	第6回総務企画委員会	Zoomミーティング
12.1	第9回情報広報委員会	山水
12.3	県三役会・県理事会	松本市及びZoom
12.4	佐久穂町見学会	大日向小学校 ちいろば保育園
12.11	ウッドクラフト反省会	かつ栄
12.13	県関プロ青年協長野大会実行委員会	Zoomミーティング
12.15	第4回三役会及び第4回幹事会	佐久グランドホテル
12.22	第7回総務企画委員会	Zoomミーティング
12.23	第4回青年女性委員会	柏屋旅館

////// 令和3年度

**総務企画委員会活動報告**

総務企画委員長 上原 啓二 ///////////////

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆様のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。

令和3年度の総務企画委員会の活動について報告いたします。総務企画委員会はほぼ月に1回Zoomにて委員会を開催し事業を進めています。9月に予定していた三団体親睦ゴルフコンペ、11月に予定していた三団体合同研修旅行については残念ながら新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、中止とさせていただきます。令和3・4年度版の会員の手引は10月に作成が終わり、皆様のお手元に届いているかと思えます。個人情報の取り扱いに注意し、会員同士の連絡等に利用してください。また、緊急災害時連絡網も市町村及び関係者に配布が完了しました。連絡網は、災害時に県・市町村との協定に基づいた被災建築物応急危険度判定を実施する際に重要な連絡網ですので、実情に合わせた更新を行っています。

新年講演会は東北芸術工科大学教授、(株)エネルギーまちづくり社 代表取締役、(株)みかんぐみ 共同代表、一般社団法人パッシブハウスジャパン 理事等をされている竹内昌義様に講師を依頼し「ゼロカーボン社会の建築のあり方～2030年までにやるべきこと」という演題で講演いただきます。長野県においても温暖化対策は長野県ゼロカーボン戦略が発表される等、重要な位置付けとなっています。この講演会が皆様の業務等の参考になり、また、新しい知識を得る機会になれば幸いです。

11月末現在、新型コロナウイルスの感染拡大は落ち着いた状況です。海外ではまだ感染拡大が続いている状況の様ですのでまだ安心はできませんが、このまま収束して普通の生活に戻れることを祈っています。令和3年度も残りわずかですが、引き続き、支部長をはじめ副支部長、副委員長、委員の皆様と協力しながら委員会活動を行なっていきたいと思います。

////// 令和3年度

**情報広報委員会**

情報広報委員長 両川 正 ///////////////

皆様におかれましては、新年を穏やかな空気の中、お迎えの事とお慶び申し上げます。

3年目となる新型コロナウイルスは、感染力は増したものの弱毒化が進み、全世界的にも死亡者数が減少し、日本においては専門家も首を傾げる程の感染者数共々の減少傾向です。このまま従前の季節性の感冒である、コロナウイルスに更なる変異を心から望みます。

しかし、感染者数は落ち着いて来たものの、社会情勢が新型コロナウイルスを元に、ワクチンパスポートやワクチン接種の強制で人々に対する同調圧力が強くなり、その行く先にはファシズム（結束）主義に走りそうな雰囲気があり、人々の自由に大きな影響を新たに与える懸念事項の様にも思われます。

さて、委員会では近年、ホームページのリニューアルに取り掛かっており、昨年からは制作会社を決め、「画像が良くないと、見て頂けない傾向！」等、アドバイスを頂きながら進めておりますが、解像度の良い画像を手配するところからで、中々まとまらない所に、会報「ちくま」の発刊作業が重なって来てフリーズ状態になってしまいます。そんな言い訳をしながらも会報の発刊が終われば、ホームページに力を入れようと思っている所存でおります。

皆様には画像や原稿を依頼し、お手数を頂ており恐縮ですが、これから出来上がるホームページでは、会員の手がけている設計や現場を、自由に発信できるものになればと思っております。

社会情勢共々、人々の自由が守られ、個人が尊重される新しい一年を祈願しております。



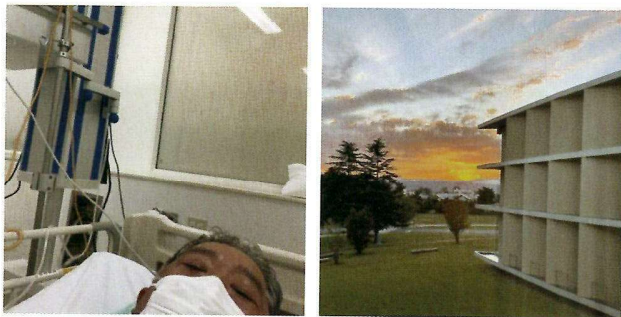


//// //// //// //// //// 令和3年度

## 『命あつての物種』

教育事業委員長 大町 栄一

2021年は2年続けて新型コロナウイルスに翻弄されて1年となりました。医療機関に受け入れてもらえずに自宅で亡くられるニュースなど悲惨な現状を突き付けられました。秋には医療体制が危機的な状況からは一時的には脱したようですが、新たな変異ウイルスが発生し、驚異的な感染力を持って再度第6波の兆しを見せています。奇しくもそのような状況下で自分が入院を余儀なくされる病気にかかってしまいました。今までに入院経験が無く、救急車にも乗ったことがなかったのに、コロナ禍での入院生活です。日々の医療は様変わりしました。発熱があれば隔離室でPCR検査を受けた後でないと治療もままならない状態です。そうこうしている間に具合がどんどん悪くなっていきます。敗血症まで併発してしまいました。これは命に係わる重大な危機的状況です。地元の総合病院では治療ができないと断られ、他の総合病院に入院したものの病名が確定できず、医師付の救急車で佐久医療センターに搬送されました。



ICUの機械に繋がれ動かせせん 医療センターの夕景

病名が確定し本格的に治療が始まったのは入院3日後でした。病名は「腸間膜静脈炎症性血栓性静脈炎」という聞きなれない病気でした。入院したての頃は仕事も社会活動も断念せざるを得ない状態でしたが的確な治療のおかげで今は回復に向かっています。

昨年は青年女性委員会と合同開催で「旧大沢小学校見学会」見学会を行うことができました（残念ながら自身は入院中のため参加できませんでした）（9ページ参照）がそれ以外はコロナ感染予防を理由に開催されていません。

今般は会員の方や一般の方からも見学物件の紹介ならびに講習会の企画提案をいただいております。た

//// //// //// //// //// 令和3年度

## 年頭にあたって

地域貢献委員会委員長 小泉 正樹

新年あけましておめでとうございます。

私たち地域貢献委員会では昨年11月に新型コロナウイルス感染状況から前回に続き2度目となるリモート版ウッドクラフトを開催しました。

リモート版初開催だった前回では何もかもが手探り状態で、準備に多くの時間がかかってしまいました。

そのため例年開催してしていた晩秋には間に合わず冬季間の開催となってしまって、屋外で参加頂いたご家族には寒い思いをさせてしまう結果に。今回は前回の経験から準備時間を短縮、少々忙しいながらもなんとか例年通りの晩秋開催に間に合いました。

参加児童の募集では士会各位への募集依頼や複数のメディアを使った告知も前回同様なかなか思うような結果は得られず、開催1週間前の参加者への材料配布時には定員の半数程度。それでも配布会場での咄嗟の機転を利かせたK、S両女性委員の直接勧誘が功を奏し、ほぼ定員に達する事が出来ました。

リモート開催当日は委員の皆さんは勿論、材料製作やリモート接続等準備段階から関わって頂いた会員、上田情報ビジネス専門学校学生の方々のご協力のお陰で前回同様参加児童のたくさんの笑顔に逢うことが出来ました。

この場をお借りして貴重な時間各作業に携わって頂いた皆さまに感謝申し上げます。

今回はコロナ禍も完全終息して直接参加者と顔を合せての通常開催に戻る事を願っております。

その他新年からは各市町村との防災協定により作成した「防災マップ」の避難所変更に伴う訂正整備等を行う予定です。その際は会員の方のご協力をお願い致します。

いへんありがたくご意見を頂戴しております。今年は今までに起案して実施できなかった講習会、見学会を含めて、新たなニーズを考慮した企画を教育事業委員会員の協力のもと立ち上げて実施していきたいと存じます。とは言えまたまたコロナウイルスが蔓延し、感染が懸念される状況となれば中止や延期をすることとなります。While there is life, there is hope「命あつての物種」です。無理をせずに健康で明るい1年としたいものです。



//////////////////// 令和4年度

**佐久支部青年女性委員会**

青年女性委員長 飯田 智 //////////////////////

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は青年女性委員会の活動へのご理解、ご協力誠にありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。

青年女性委員会では新しい仲間、若い仲間が楽しく参加できることを目指して、活動しております。昨年は、コロナ過で思うように活動ができないなか、おかげさまで3回見学会を開催しました。見学会を通じて、建築士の仲間の大切さを改めて感じることができました。感謝いたします。

個人的な話で申し訳ありませんが、

大沢小学校見学会で参加して下さった鈴木大工に教えて頂いた言葉があります。

その言葉は「ひかりこみ」です。

石で基礎をした場合、土台を石に合わせて削り込んでいく作業の事だと、建築に携わって23年にして初めて知りました。石に木を置いて、当たる場所に墨をして削り、またあたりを見て削る。何度も繰り返し、石に土台や柱がぴたりと合うように削る作業で、とても大変なのだと片井副支部長が教えてくださいました。

大沢小学校の場合は、石の上に置いた礎石を下の石に合わせて削ってある、難しさで言えばひかりこみの王者のようなレベルだと感じました。この建物を明治時代に、わずか1年足らずで建築したというから、さらに驚きです。

皆で建築を見ていると色々な情報が飛び交い、知っている人の講義があちこちで始まり楽しい見学会となりました。まさに建築士会の素晴らしさはここにあるのだと改めて感じました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

さて、今年度は、6月18日(土)に関東甲信越建築士ブロック大会 青年建築士協議会が長野県担当で開催されます。オンラインでの開催ですが、皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。また新しい仲間が大勢参加できる委員会活動を、企画していければと考えております。

建築士会もいま変革の時に来ています。新しい時代に「ひかりこめる」建築士会になるよう、協力させていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度の活動ご紹介です。



「政所新二 木彫展 美は細部に宿る」見学会



御代田フットパスコース整備



旧大沢小学校見学会



佐久穂町建物見学会



## 旧大沢小学校見学会に参加して

長野県建築士会佐久支部 齊藤 絵美

令和3年10月30日(土)晴天の中、佐久市大沢の旧大沢小学校の見学会に参加。

大沢地区文化財保存会の永井一男会長が、丁寧に当時のエピソードも含め建物を詳しく説明してくれました。この建物を多くの方に知ってもらい活用して頂きたいという永井さんの熱い思いも感じました。

明治26年4月に村民の協力を得て竣工し、昭和58年3月の野沢小学校との統合により閉校するまでの間、愛され続けた大沢小学校。黒板には、閉校の日に職員一同が書いたチョークの文字が今も残っています。

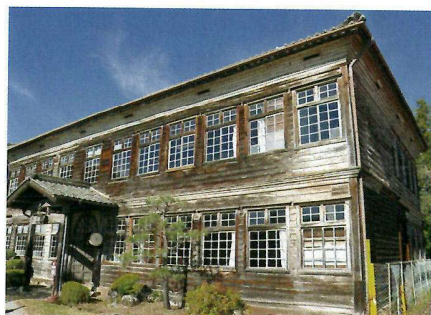
建物は、木造2階棧瓦葺寄棟造り 外壁は、西洋下見板張り 当時は、白いペンキが塗られていたそうです。中央玄関を入るとレンガ敷と覆輪目地の床にアー

チ窓からはいる光が差し込み綺麗でした。また、緩やかな勾配の階段・板張りの長い廊下、連続する格子窓、輸入ガラスのゆらぎ、すべてがノスタルジックで美しい空間でした。

建築士達も、「昔の校舎を思い出す。地元の木材や石が使用されていて、大工さんの工夫もあり素晴らしい建物ですね。」と絶賛していました。

最後に、この見学会は8月に予定されていましたが延期になり、再度、企画されました。

保存会の永井会長と何度も打ち合わせし準備をしてくれた、青年女性委員会の飯田委員長に、この場をかりてお礼申し上げます。



外 観



外壁 窓枠水落とし (シュメール)



小屋組



玄 関



廊 下



## ウッド・クラフトで勉強になったこと

上田情報ビジネス専門学校 建築学科  
インテリア住環境コース1年 **土橋 貴行**

リモート版「親子で作ろう!!ウッド・クラフト」のボランティアとして参加し、社会人として必要な技術や知識を学ぶことができました。

私は将来、大工になりたいと考えています。今回、補佐させていただいた講師の方は、私が目指す職業である大工の仕事をしている方ということもあり、身近でその技術や知識を体験できたことはとても勉強になりました。一つ目は、玄能の柄を持つ位置や手首の使い方です。午前中に技術を拝見し、教えていただいたこともあり、午後にはスムーズにくぎ打ちができるようになりました。二つ目は、仕事の手際良さです。次に何をするかを考えて、用意するものを段取りするという手際の良さには感心しました。私もこれから様々な場面で練習していき、段取りができる大人になりたいです。

さらに、カメラの向こうの子供たちに会場にいた全員が笑顔で接し、労いの言葉を送る姿は、目標とする大人の姿だと感じました。今回ボランティアを通じて様々な学びができたことは、とても有難く、感謝の思いでいっぱいです。貴重な体験をありがとうございました。

A班（総括・リモート構築・ネット配信）  
新津輝秋さんより

今年もオンラインでの開催であったため、Zoomの設定などでお手伝いさせてもらいました。



建築士のサポートが画面上に限られるので参加者家族のみで完成させなければならず、却って家族の絆が深まりこれはこれでありなのかなと思いました。

B班（製作品の材料加工・運搬・図面用意）  
重田仁志さんより

今回のウッドクラフトも昨年同様リモートでの開催となりましたが、たくさんの方に参加していただきました。

当日は講師を担当し、参加された方の中には遠く諏訪市や静岡県沼津市からの参加者もいらっしゃいました。

遠方から誰でも参加できるのはリモートならではの思いです。

リモートで子供たちに教えるという経験は初めてでしたが、無事にみんなが作り終え「難しかったけど楽しかった。」という感想も聞かれ嬉しかったです。

また、準備や当日お手伝いしていただいた方、ありがとうございました。

C班（PR・チラシ・募集・受付・写真ビデオ撮影）  
佐藤穂高さんより

今回、地域貢献委員会として11月13日に行われたウッドクラフトに初参加しました。

また、今年も新型コロナウイルス感染症の対応策としてリモート版による開催となりました。

広告作製・配布やホームページ掲載による広報、当日のカメラ・ビデオ撮影が主な係の内容でしたが、委員の皆様様の積極的な参加と、会員の皆様様の得意とする分野の非常に心強いサポートによって準備風景から最後の片付けまで撮影を行う事まで出来、無事にイベントを終了できたのではないかと思います。





## 賛助会員の紹介

株式会社ケンショウ

長野県建築士会佐久支部会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は、昭和9年に南佐久の地に『井出建商』として創業し、昭和58年に『株式会社 ケンショウ』として設立いたしました。

平成8年佐久市に“佐久店”を新設、平成27年6月27日“佐久平ショールーム”をグランドオープンいたしました。

弊社は、建設・住宅に関する資材の販売と、それに伴う修理・リフォームを手掛けております。

水廻り商品の展示を中心としたショールームを活用し、商品の機能を最大限に活かすご提案や工事は弊社の得意とするところであり、お客様に安心・満足していただくことが私たちの使命でもあり、やりがいです。

地域密着をモットーに、たくさんのお客様から頂戴した長年にわたる信用は当社の大切な資産です。

「我が家のお医者さん」と、お客様に言っていただけのように、これからもスタッフ一同、知識・技術の向上に努めて参ります。

最後に、長野県建築士会会員の皆様のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

代表取締役 井出 隆

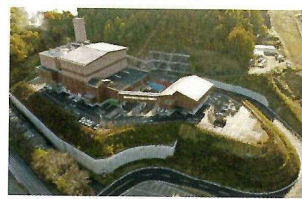
### 主な事業内容

1. 建築資材・土木資材の販売
2. 住宅サッシ・ビル用サッシの販売及び工事
3. 建具・家具・ユニットバス・キッチン・トイレなどの住宅設備機器の販売及び工事
4. LGS工事・置床工事・建具工事・内装工事の請負
5. 門扉・門棚・外灯・ベランダ・テラス等の住宅付属設備の販売
6. 外壁工事・塗装工事・防水工事の請負
7. 上下水道設備工事・消防設備工事の請負

## 賛助会員の紹介

株式会社 竹花組

公益社団法人 長野県建築士会佐久支部会員の皆様には、平素より格別なる御高配を賜り厚く御礼申し上げます。弊社は対象11年（1922年）2月12日に創業し、今年で創業100周年を迎えました。昨今の代表工事実績としては宇宙航空研究開発機構（JAXA）の美笹深宇宙探査用地上局、佐久市軽井沢町立科町10市町村対象のごみ焼却施設「佐久平クリーンセンター」、「長野県立武道館」現在進行中の「佐久平駅南開発事業」、「平原大橋橋脚」等々、地域に根差した様々な事業活動を基に、国土交通省からの災害時の基礎的事業継続力認定、長野県より職場いきいきアドバンスカンパニーの認定、SDGs推進企業登録等をいただいております。また再生可能エネルギー事業として五郎兵衛用水発電所にも着手しています。



佐久平クリーンセンター



佐久平駅南開発事業



平原大橋脚

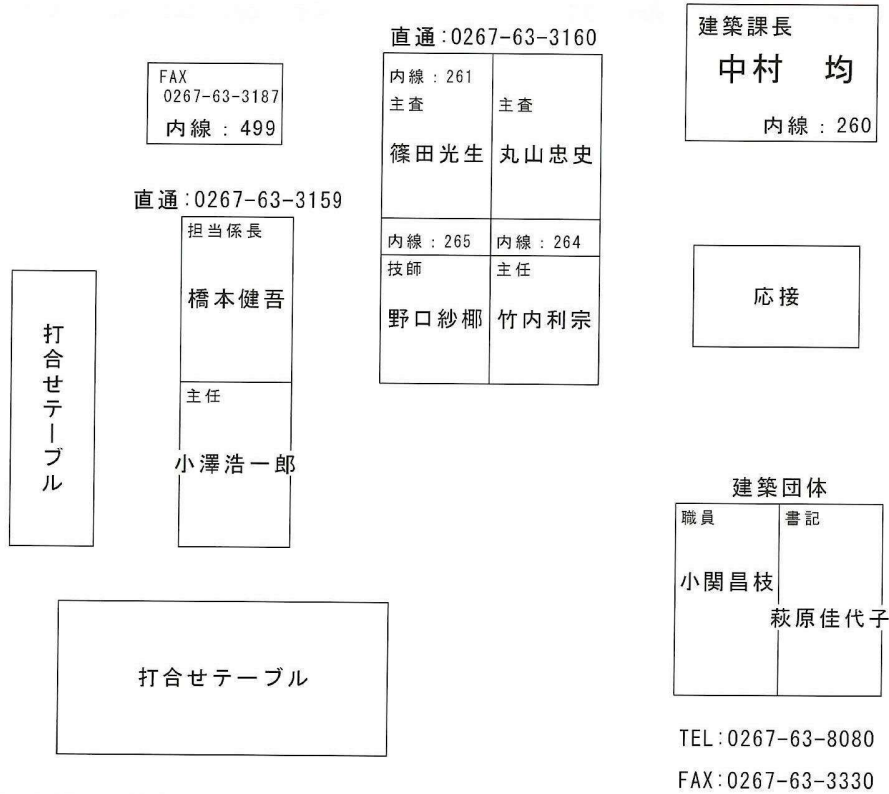


長野県立武道館

100年という時間は人類の歴史の中では暫時ですが、ひとつの企業としては語りつくせない歴史があります。新型コロナ禍で大変な日常ではありますが、これからもお客様から信頼され、製品に対する高い評価をいただける企業として全社一丸となって切磋琢磨していく所存です。

最後に佐久市建築士会皆様方の益々のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

### 佐久建設事務所 建築課 配置図



\*\*\*\*\*

### ●編集後記●

\*\*\*\*\*

### 表紙の写真



\*\*\*\*\*

先ず始めに、1月の下旬に発行しようとしたこの会報「ちくま」66号が1ヶ月程度、遅れまして、深くお詫び申し上げます。

今までも新型コロナの蔓延で大変と思っておりましたが、この頃に来て、新型コロナがボクシングのポーズの様に静かに効いた感が受け取られます。

そんな中、衝撃を受けた事柄が、原稿を催促していたOさんの原稿を受け取ったときです。生死の淵を彷徨っていた人に、私共は原稿を催促していたのです。何で、このような状態のときに我々は！とってしまいました。

これは、新型コロナの影響より、私はワクチン接種の因果関係かと勝手にみております。実は、長男の勤める会社の上司も脳溢血になりまして、どうにか社会復帰は出来そうな様ですが、やはり生死の淵を数日間、彷徨った様です。

この頃、人生100年時代と申しますが、寝込んだままのその時間は本意ではないと思います。

欲しいのは、健康体で豊かな時間の流れです。

新型コロナだけではなく、ウクライナ紛争も、早く鎮静化を願うばかりです。(T・R)

\*\*\*\*\*

### 会報『ちくま』第66号 2022/3

発行者：(公社)長野県建築士会 佐久支部  
情報広報委員会

事務局：〒385-8533 佐久市跡部65-1  
佐久建設事務所内

TEL 0267-63-8080

FAX 0267-63-3330

E-mail：ken8080@seagreen.ocn.ne.jp

支部HP http://www.aba-saku.com/

印刷：ヨダ印刷サービス株式会社

TEL 0267-22-3330